

## 脳血管疾患の治療開始時間の修正について

第 1 回練馬区医療施策検討委員会の資料 5 の脳血管疾患の課題において、t-PA の治療開始を概ね 3 時間以内としていたところ、概ね 4.5 時間に修正します。

## 【内容】

脳血管疾患の中で、脳の血管が詰まってしまうタイプの疾患が脳梗塞です。動脈が詰まると、脳の神経は時間の経過とともに傷み、ついには神経細胞が死んでしまいます。

脳の細胞が死ぬ前に血管を詰まらせている血栓（血の固まり）を、薬剤を点滴することにより溶かし、血流を再開させて脳の働きを取り戻す治療が、t-PA 治療です。

当初は、発症から 3 時間以内の治療開始が t-PA 治療の条件のひとつでしたが、さまざまな臨床試験の結果、欧州で 2008 年（平成 20 年）10 月から 4.5 時間に改められました。2012 年（平成 24 年）には、4.5 時間以内の処置が日本で診療報酬の対象として認められました。

また、日本脳卒中学会の適正治療指針<sup>1</sup>も同様に改定されています。

---

<sup>1</sup> 日本脳卒中学会 脳卒中医療向上・社会保険委員会「rt-PA（アルテプラゼ）静注療法指針改訂部会 rt-PA（アルテプラゼ）静注療法適正治療指針 第二版 2012 年 10 月（2016 年 9 月一部改訂）」  
<http://www.jsts.gr.jp/img/rt-PA02.pdf>